

2025 年 9 月吉日

報道関係者各位

ニュース記事化のお願い

FLAGSHIP LINE 株式会社

【2025 年 9 月 3 日(水)0 時 解禁】

**FLAGSHIP LINE 株式会社がアニメーションスタジオ「STUDIO GRAPH77」を設立
第 1 弾作品は『藤本タツキ 17-26「シカク」』を制作**



平素よりお世話になっております。この度、FLAGSHIP LINE 株式会社は、新たなアニメーション制作スタジオとして「STUDIO GRAPH77」<http://graph77.com/>の設立を発表いたしました。また、スタジオが手掛ける作品の第 1 弾が『藤本タツキ 17-26「シカク」』(11 月 8 日(土)より Prime Video で世界独占配信)となることもあわせて解禁となりました。

【FLAGSHIP LINE 株式会社がアニメーションスタジオ「STUDIO GRAPH77」を設立】

この度、FLAGSHIP LINE 株式会社（以下：FLAGSHIP LINE）は、新たなアニメーション制作スタジオとして「STUDIO GRAPH77」（以下：GRAPH77）の設立を発表いたしました。

GRAPH77 は、世界中の心を動かしてきた日本のアニメーションの系譜を継ぎながら、次の時代の「物語」の創出を目指し、グローバル展開を視野に入れた取り組みを進めてまいります。

スタジオ設立にあたり、代表取締役社長・松村一人によるコメントも発表となりました。

新スタジオについて（代表取締役社長・松村一人）

年間に数多くのアニメーション作品が生まれる昨今、“作り手が創作に集中できる環境”と“次世代アニメーターの育成”という二つの軸を大切にしながら、作品づくりに取り組みます。

作品ごとに真摯に向き合い、携わるクリエイターが誇りを持てる現場を築くこと。

そして、未来を担う人材が安心して挑戦し、成長できる教育の場を提供すること。

この二つを両輪として、新しい価値を持つアニメーションを世に送り出せればと考えています。

運営会社概要

社名

FLAGSHIP LINE 株式会社

設立年月日

平成 30 年 7 月 2 日 資本金 1 億円（資本準備金含む）

アニメーションスタジオ

STUDIO GRAPH77

株主 エイベックス・ピクチャーズ株式会社

役員体制

代表取締役社長 松村 一人

取締役 勝股 英夫 大山 良

監査役 宮本 健男

主な事業内容

アニメコンテンツの企画・制作

STUDIO GRAPH77

公式サイト

<http://graph77.com/>

公式 X アカウント

https://x.com/studio_graph77

©FLAGSHIP LINE, Inc.

【STUDIO GRAPH77 が贈るアニメーション作品第 1 弾は『藤本タツキ 17-26「シカク」』を制作】

この度、STUDIO GRAPH77 が手掛ける第 1 弾作品が『藤本タツキ 17-26「シカク」』（11 月 8 日(土)より Prime Video で世界独占配信）となることが発表となりました。本作は、「ファイアパンチ」、「チェンソーマン」、「ルックバック」を生んだ鬼才・藤本タツキが 17 歳から 26 歳までに描いた読み切りの短編作品集のアニメ化。計 8 作品を、6 つのスタジオ×7 名の監督たちがそれぞれのカラーで新たに創り出します。STUDIO GRAPH77 による「シカク」は、監督・脚本・コンテ・演出をテレビアニメ「Paradox Live THE ANIMATION」(2023 年)を監督、「新劇場版 銀魂 -

吉原大炎上-」(2026)等話題作も控える安藤尚也が務めます。

＜『藤本タツキ 17-26「シカク」』 作品概要＞

【Introduction】

「ファイアパンチ」、「チェンソーマン」、「ルックバック」を生んだ鬼才・藤本タツキが17歳から26歳までに描いた読み切りの短編作品集をアニメ化！2016年「少年ジャンプ+」で「ファイアパンチ」の連載をスタートさせた藤本タツキ。エキセントリックなキャラクターたちが繰り広げるバイオレンスとエモーショナルな展開が溢れる構成で多くのファンを虜にし、2020年には「チェンソーマン」で第66回小学館漫画賞少年向け部門を受賞。さらに、原作を手掛けた劇場アニメ「ルックバック」が2024年6月に公開されると、国内外での興行収入44億円を超えるヒットに。今、日本のみならず世界中から支持を集める作家のひとりである。

今回、藤本タツキが17歳から26歳までに描いた読み切りの短編作品集に収められた全8作品をアニメ化。人類が滅亡した世界で生き残った2人の絆を描く「庭には二羽ニワトリがいた。」をはじめ、思春期の衝動がさく裂する「佐々木くんが銃弾止めた」、恋心が宇宙規模で暴走するSFラブコメ「恋は盲目」、ネジの

外れた殺し屋少女の暴走愛「シカク」、海中のピアノが奏でる少年と人魚の恋「人魚ラブソディ」、ジェンダーの枠を超えて“自分らしさ”を見つける「目が覚めたら女の子になっていた病」、過酷な宿命を背負った兄妹の再生の物語「予言のナユタ」、絵に懸ける姉妹の嫉妬や葛藤、そして成長を描く「妹の姉」の計8作品を、6つのスタジオ×7名の監督たちがそれぞれのカラーで新たに創り出す。

【story】

殺し屋としてその名を馳せている少女・シカク。吸血鬼・ユゲルは、3500年にも及ぶ不死の生活に退屈し、シカクに自分を殺すよう依頼する。

■タイトル

藤本タツキ 17-26「シカク」

■スタッフ

監督・脚本：安藤尚也

キャラクターデザイン・作画監督：MYOUN

銃器デザイン：高田 晃

プロップデザイン：山本もも

色彩設計：吉田小百合

美術監督：岡本穂高

美術設定：竹内柚紀

2Dワークス・特殊効果：内海紗耶 江頭鈴々



3DCG ディレクター：長澤洋二

撮影監督：河原秀樹

編集：三嶋章紀

音響監督：高寺たけし

音楽：川井憲次

■キャスト

シカク：花澤香菜

ユゲル：杉田智和

■権利表記

©藤本タツキ／集英社・「藤本タツキ 17-26」製作委員会

※作品素材使用の際は必ず権利表記の記載をお願いいたします。

[スタジオに関するお問い合わせ]

info-graph77@av.avex.co.jp

[作品に関するお問い合わせ]

「藤本タツキ 17-26」宣伝お問い合わせ：エイベックス・ピクチャーズ株式会社

瀧清加 taki-sayaka@av.avex.co.jp 前田朋毅 maeda-tomoki@av.avex.co.jp